

## 万葉の植物—とっておきの植物画 II—

小豆むつ子

(植物画家・ひとはく地域研究員)

私の住む兵庫県稲美町は万葉集に詠われた「印南野」の中心地にあたり、万葉文化を身近に感じられる町だ。そのため万葉集には以前から興味を持っていた。万葉集は、文化や歴史を愛する多くの人々を惹きつける題材の一つだろう。

そこで、今回、万葉集という文化的題材をきっかけに、実際の植物をより深く知ってもらおうと思い、万葉の植物に焦点をあてて描いてみた。また、観察の結果、特に興味深い形態・生態を持つものについては、観察画としてまとめ、教材を作成した。

### 【材料植物】

カワラナデシコ（撫子）、キキョウ（朝顔）、コナギ（小水葱）、サネカズラ（さな葛）、ナンバンギセル（思ひ草）、ネムノキ（合歓木）、ハス（蓮）、ヒオウギ（ぬばたま（ヒオウギの種子）、ヒルガオ（顔花）、ベニバナ（紅）、ヤブカンゾウ（忘れ草）、ヤブコウジ（山橘）、ヤマハギ（萩）。

### 【方法】

次の方法を用いた。

1. 詠われている植物が現在のどんな植物に当たるのか、文献で調査する
2. 対象の植物について、図鑑でよく調べる
3. 対象の植物を採集し、さく葉標本を作る。当面の観察用に生植物も採集する
4. 生育環境や生育状態を記録する
5. 肉眼、ルーペ、実体顕微鏡で観察する
6. 花などは解剖して観察し、各器官の大きさを物差しやノギスで測定する
7. 鉛筆で描き、色鉛筆で彩色する

### 【作品】

13種類の植物について、植物画を作成した。観察の結果、特に興味深い形態・生態を持っていた3種類：カワラナデシコ、キキョウ、ネムノキ、については、観察画としてまとめ、今年の共生のひろばで「とっておきの植物画」として発表した観察画と同様の様式で教材化した(図1、図2、図3)。

### 【謝辞】

ひとはくの布施先生には、標本の作成からまとめ方まで多岐にわたってご指導を賜った。高野先生には、コナギの同定についてお世話になった。服部先生、黒田先生、澤田先生をはじめジーンファームを管理されている方々には、ヒオウギという貴重な植物を描く機会を与えていただいた。また、小豆佳代さんには、コンピューターを用いた作業について大変お世話になった。福井さんには、材料植物の収集に関してお世話になった。この場を借りて厚く御礼申し上げる。

# カワラナデシコ (観察)

双子葉植物

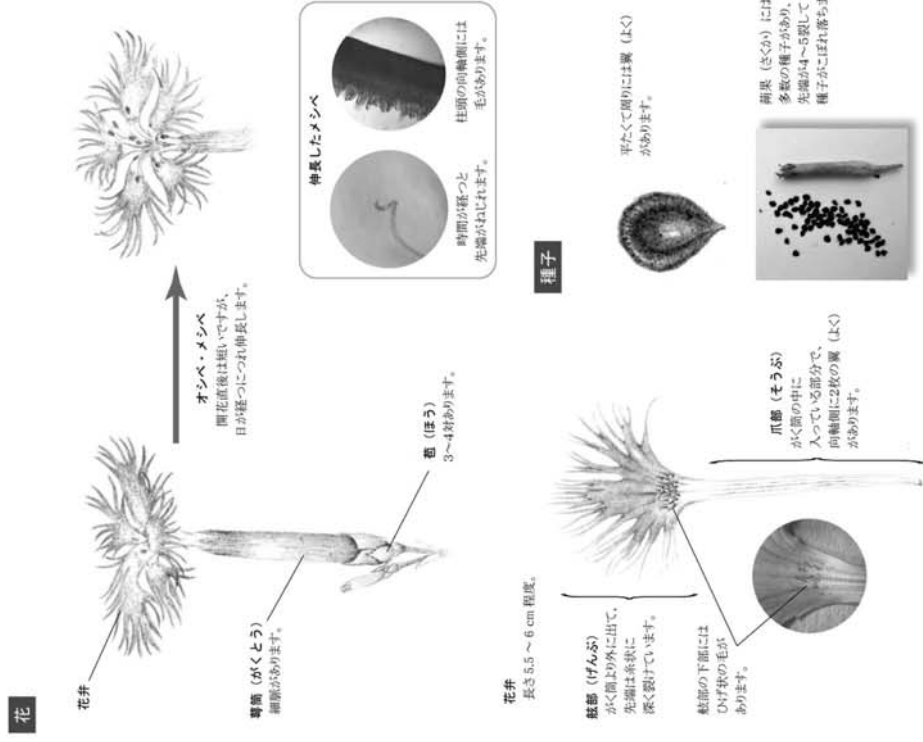
思わず撫でてみたくなる程  
かわいい花です。

花のつくり

- がく……円筒状で先端は5裂
- 花弁……5個
- 雄蕊 (オシベ)……10個
- 雌蕊 (メシベ)……1個 (花柱は2個)



■カワラナデシコ ナデシコ科 ナデシコ属の多年草  
 学名: *Dianthus superbus* L. var. *longicalycinus* (Maxim.) Williams  
 属名は Dios (ギリシャ神話の神ジュピター) + anthos (花) の意。  
 種小名は気高い・華美な、の意。  
 低地や日当たりのよい草原や河原などに生えます。花期: 7~10月。



花



オシベ・メシベ  
 開花直後は短いですが、  
 日が経つにつれ伸長します。

萼筒 (がくとろ)  
 細部があります。

苞 (ほう)  
 3~4対あります。



伸長したメシベ

時間が経つと  
 先端がはじれます。  
 柱頭の向側には  
 毛があります。

花弁  
 長さ5.5~6 cm程度。

萼部 (げんぶ)  
 がく筒の外に出て、  
 先端は糸状に  
 深く裂けています。

平たくて筒には翼 (よく)  
 があります。

爪部 (そうぶ)  
 がく筒の中に入っている部分で、  
 向側側にお枝の翼 (よく)  
 があります。

萼部の下部には  
 ひげ状の毛が  
 あります。

捕果 (きくみ) には  
 多数の種子があり、  
 先端が4~5裂して  
 種子がこぼれ落ちます。

図1 カワラナデシコ

# キキョウ (観察)

双子葉植物

昨日と今日であら不思議！  
雄蕊と雌蕊の形が違います。

花のつくり  
 ○がく……5裂  
 ○花冠……5裂  
 ○雄蕊 (オシベ)……5個  
 ○雌蕊 (メシベ)……1個 (柱頭は5裂)



■キキョウ キキョウ科 キキョウ属の多年草  
 学名: *Platycodon grandiflorum* (Jacq.) A. DC.  
 属名の *Platy* (広い) *codon* (鱗) は、花の形に由来。  
 種小名は大きな花の意。日当たりのよい草地に生え、太い根茎を  
 持っています。草原で生育するキキョウは、茎は細長くて (50 ~ 100 cm) 花は少ししかつかけませんが、  
 鮮やかな花の色はひときわ目を引きます。花期: 7 ~ 9月。

ファンポイント観察  
 開花直後、オシベはメシベを囲んでいます。オシベが花粉を出している間、メシベは受粉ができません。  
 オシベが倒れた後、柱頭がらつに裂け、メシベはようやく受粉できるようになります。

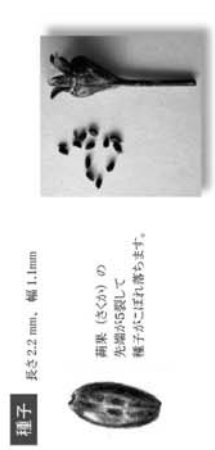


図2 キキョウ

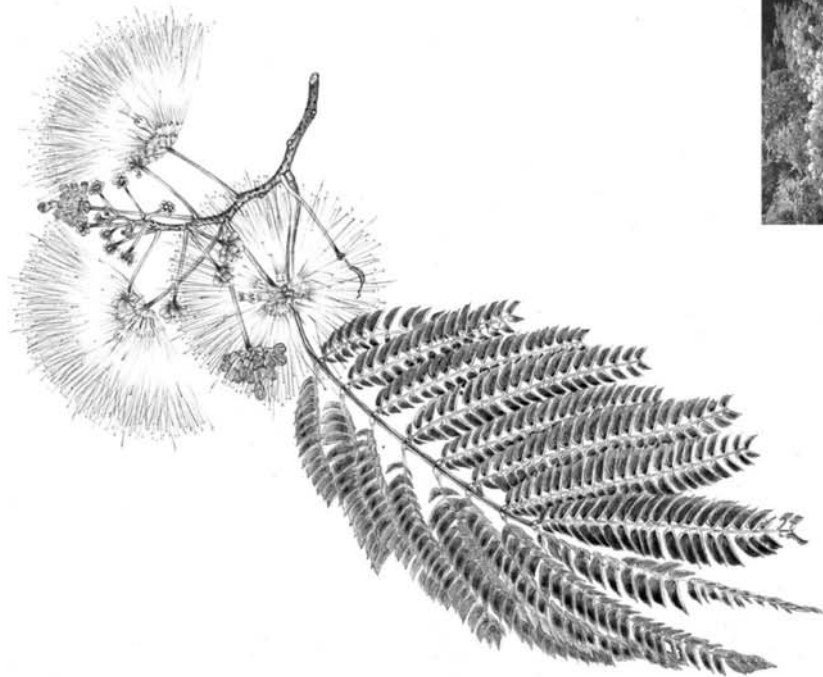
# ネムノキ (観察)

双子葉植物

ピンク色の糸状の部分は  
花びらではなく雄蕊です。

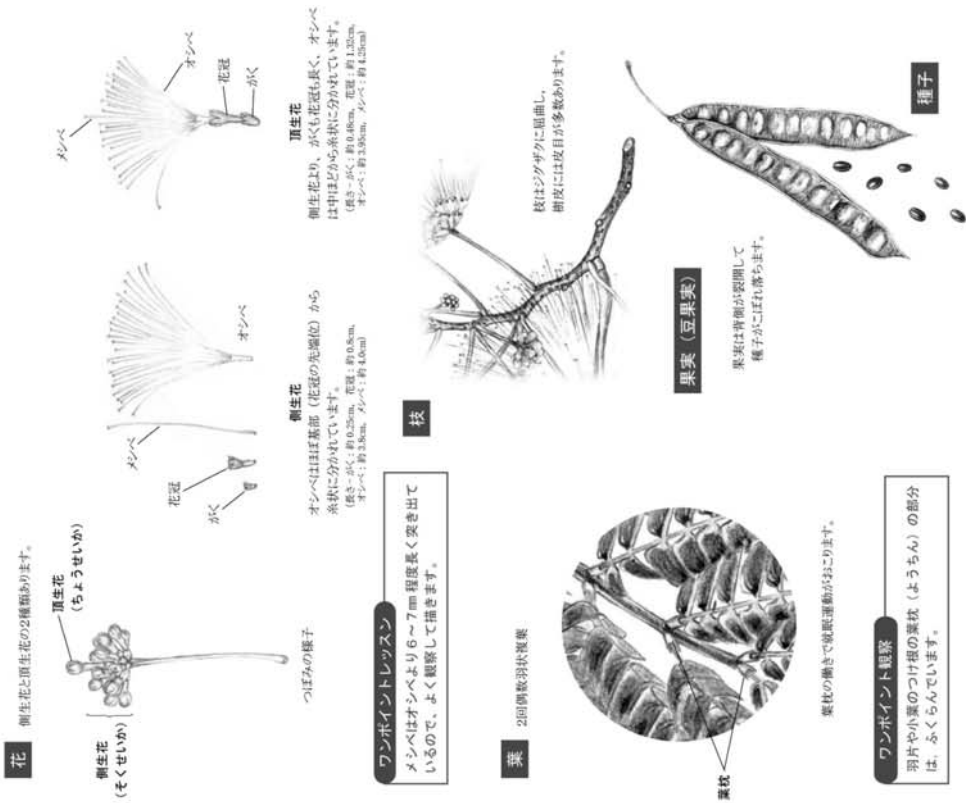
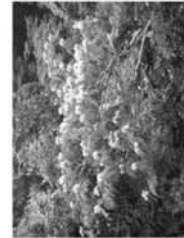
花のつくり

- がく……1個 先端は5裂
- 花冠……1個 先端は5裂
- 雄蕊 (オシベ)……約22～26個
- 雌蕊 (メシベ)……1個



## ■ネムノキ マメ科 ネムノキ属の落葉高木

学名: *Albizia julibrissin* Durazz.  
 属名は、ヨーロッパにこの属を紹介したイタリア人の名に由来。  
 林縁、原野などの日当たりのよい湿潤によく生育します。  
 暗くなると葉は閉じて垂れ下がる (休眠運動と言います) ので、木が眠っているように見えるところから  
 ネムノキと名づけられました。花期: 7～8月。



側生花と頂生花の2種類があります。

頂生花 (ちやうせいけい)

側生花 (そくせいけい)

メシベ

オシベ

がく

つぼみの様子

側生花

頂生花

側生花より、がくも花冠も長く、オシベは中ほどから糸状に分かれています。

側生花: 長さ: 約0.25cm, 花冠: 約0.8cm, オシベ: 約3.8cm, メシベ: 約4.0cm  
 頂生花: 長さ: 約3.0cm, 花冠: 約1.3cm, オシベ: 約3.0cm, メシベ: 約4.2cm

ワシポイントトレスン  
 メシベはオシベより6～7mm程度長く突き出ているので、よく観察して描きます。

枝

葉  
 2回偶数羽状複葉



葉枝

葉枝の働きで休眠運動がおこります。

果実 (豆果実)

果実は背面が開いて種子がこぼれ落ちます。

ワシポイント観察  
 羽片や小葉のつけ根の葉枕 (ようちん) の部分は、ふくらんでいます。

図3 ネムノキ